



校訓  
「自主・敬愛・責任」

# 阿戸中だより

平成23年

6月

広島市立  
阿戸中学校

## ☆6/5(日) 阿戸小中合同運動会開催される! ☆

天候が心配される中、多くの方々の願いが通じたのでしょうか、無事すべての日程を行うことができ、子どもたちも大満足の合同運動会が終了しました。合同3回目ということもあり、落ち着いた流れの中で、当たり前のように展開された運動会でしたが、先日学校協力者会議で委員さんが次のようなコメントをしてくれました。

「合同運動会や文化祭を見ると、けがれのない小学校1年生の視線に答えなければいけない上級生としての姿勢がよく見て取れる。もちろん中学校だけでも一生懸命していたが、だらだらしていない。中1に見せるのと、小1に見せるのでは意識が違うのであろう。合同は中学生にとって大変いい効果を出している。」

私たちが小中連携で目指しているものの一つでしたが、それが傍目から感じ取れているなら成果が出ているのだと思います。大変うれしく思いました。小規模校である阿戸小中ならではの、連携・合同を大切に、子どもたちの健やかな成長につなげたいと思います。ご理解・ご支援ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。



女子が大好きな棒奪い  
まさに「仁義なき女の戦い」でした

けが人を心配しながらも、男の本能を発揮して  
格闘を繰り広げる騎馬戦「のって、とって、カッタドー」



3年目ですっかり定着した「阿戸盆踊り」  
今年は特に、手踊りのふりを大きく、自信を持って踊っていました。

### ☆生徒作文より☆

3年生 竹内 和幸 くん



僕は今年の運動会で5つ嬉しかった事があります。

一つ目は、大縄跳びで1位になった事です。今まで僕たちは最高30回くらいしかできなかったのに、今日本番の2回目で大逆転し、勝利することができました。正直、涙が出そうでした。

二つ目は、放送係の役目をすべてやり遂げた事です。放送の仕事は運動会の係の仕事の中でもかなり重要な役割だと思います。ちゃんと忘れずにやり遂げる事ができて嬉しかったです。

三つ目は、応援合戦です。今まであまり言うことを聞いてくれなかった2年生が、言うことをしっかり聞いてくれるようになりました。そして本番では、今日一番の声を出すことができました。本当に良かったです。

四つ目は、リレーや各競技の時にみんなが応援してくれた事です。”のってとってカッタドー”では負けてしまいましたが、全力を出し切ることができたと思います。もし応援が無かったら、僕達はやる気のないままやっていた事でしょう。

五つ目は、一番嬉しかった事で、水色班が優勝し、総合でも白組が勝ち、そしてなんと応援合戦でも見事勝利を勝ち取った事です。これは言葉にできないほど嬉しかったです。この勝利は仲間と協力して戦ったからこそ、為し得た勝利だと思います。

来年も頑張りたいです!・とりたいところですが、もう来年は僕はいないので今の2年生がリーダーになります。2年生は来年、もっと熱い運動会にできるように頑張ってください。

### 3年 不藤 一 秀 くん

僕は今年の運動会で、後輩に応援合戦のカタを優しく教えるように努力しました。一回教えただけではなかなかすぐできるようにはなりません。「だからあ〜…」と怒りそうになるのを我慢して、なるべく優しく教えるように頑張りました。

後輩がカタを覚え始めた頃、アクロバットに取りくもうという話になり、僕はハンドスプリングをやろうと思いました。でも、なかなかできませんでした。何度も何度も失敗して、どんどん本番への日数も減っていきました。そしてとうとう当日、ろくに完成していないハンドスプリングを見せなければなりません。やめるという選択肢もありましたが、そうするとアクロバット分のダンスを覚えなければならず、今となってはとうてい不可能でした。失敗の原因は分かっていました。腕が曲がっていたのです。そこを気をつけて、なんとか成功させるしかありません。そしてその時がきました。腕を伸ばすように意識しつつ、勢いをつけて走っていききました。するとなんと成功したのです！ 着地の時に足が曲がってしまいましたが、練習の時には着地すら出来なかった自分にとっては十分な成果でした。

このアクロバットの成功が今回の運動会の中で一番嬉しかった事です。



### 阿戸中のフレッシュ教職員



事務員 高橋 梢先生

昨年度に引き続き、臨時事務員として阿戸中学校にお世話になることになりました。

生徒とかかわることは減りましたが、職員室を訪れる子どもたちに笑顔で接することを心がけたいと思います。自分自身、まだ学校に慣れていない状態ですが、中学校を訪れた方が気軽に声をかけられるような環境をつくれたらと考えています。

これから、どうぞよろしくお願ひいたします。

図書アシスタント 佐藤 真美先生



こんにちは、図書アシスタント担当の佐藤です。図書室では、休憩時間ならではの子どもたちのいろいろな表情が見られ、毎日とても楽しく過ごしています。

本を読むことに抵抗を感じる生徒も多いのですが、図書委員さんをはじめ、新聞の切り抜きをしたり、図書室のキャラクターを考えたり、楽しいことに色々取り組んでいます。これから生徒の皆さんと一緒に、楽しく利用できるような図書室を作っていきたいです。これからよろしくお願ひします。